環境にやさしいリフォームに補助金を支給します
福生エコライトハウス事業

リフォームをお考えの方
わが家を環境にやさしい家にしたいとお考えの方

地球温暖化に大きな影響を与える二酸化炭素。この二酸化炭素の削減が世界的な課題となっていますが、福生市は住宅が多いため、家庭部門の二酸化炭素の排出割合が高くなっています。

そこで、福生スクラム・マイナス50％協議会では、住宅からの二酸化炭素を削減するため、今年もエコライトハウスの趣旨にそった戸建住宅の高断熱改修（リフォーム）や新エネ・省エネ機器の設置に対して補助金を支給します。

外壁断熱、断熱サッシ、複層ガラスを設置した住宅

エコライトハウス事業

今回募集するエコライトハウスには、A・B２つ（表1）のパターンがあります。

これらは、あくまで標準のパターンで、個々のお宅の面積、建築年、断熱効果などで状況が異なります。

表１（標準的な工事費）

Aパターン	高断熱化改修:約420万円 太陽熱高度利用機器:約64万円 高効率給湯器:約29万円（省エネナビ:37,000円）
Bパターン	高断熱化改修:約375万円 家庭用コージェネレーション:約60万円 ペレットストーブ:約68万円（省エネナビ:37,000円）

表２（補助率）

断熱材改修分	○断熱材の従来品の基準と高断熱材との差額の2/3 ○断熱工事に伴う工事費の2/3
開口部改修分（窓枠とガラスの断熱化）	○同じ寸法で単板ガラス（3ミリ程度)•アルミサッシ枠と高断熱ガラス•サッシとの差額の2/3 ○サッシ工事に伴う工事費の2/3
省エネ・新エネ機器	○太陽熱高度利用機器（工事費含む)価格の2/3 ○ガスコージェネレーション（工事費含む)価格の2/3 ○ペレットストーブ（工事費含む)価格の2/3 ○高効率給湯器（出力が同等の従来品の給湯器との差額)の2/3 ○高効率給湯器工事費の2/3

エコライトハウス事業にご協力いただける方々の要望に基づき設計を行なうことになりますが、その際の最低条件は高断熱改修と機器類1台以上の設置です。

高断熱改修は壁、窓ガラス・サッシ、床、屋根または天井のうち2つ以上が含まれていることが条件です。

補助額 補助対象額の3分の2（表2）です。

補助上限額 250万円

募集戸数 2戸

募集期間 12月26日㈮まで（審査決定数が募集戸数を超えた段階で締切です。）

補助条件
①エコライトハウス認定看板の設置
②見学会の受け入れ
③福生スクラム・マイナス50％協議会広報やホームページでの紹介
④エネルギー診断用機器の設置など

説明会（要申込）10月24日㈮午後7時30分～9時。25日㈯午前10時30分～正午、午後1時～2時30分

場所 市役所第一棟2階第1会議室

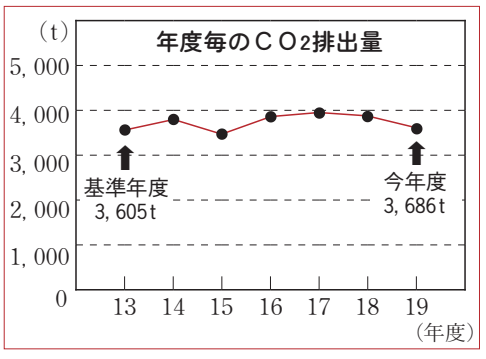
※説明会に参加できない方には個別に説明を行ないます。事務局に申し込んでください。

申込み 環境課環境係☎551・1718

市役所の温室効果ガス排出量の調査結果について

福生市地球温暖化対策実行計画に基づき、平成19年度の温室効果ガス排出量の調査結果を報告します。平成19年度の排出量は3，686トンでした。

基準年度値と比べ、これまで増加傾向にありましたが、平成19年度は新庁舎建設の工事期にあたり、1棟のみ（現在の半分の建物）の稼動であったため、減少傾向へと転じました。



問合せ 環境課環境係☎551・1718

やめよう ポイ捨て やめよう歩きたばこ
～福生喫煙マナーアップキャンペーン～

キャンペーンでは、歩きたばこや吸殻ポイ捨てといった「迷惑喫煙」を防止し、たばこを吸わない人にも理解される喫煙マナーの向上を呼びかけるものです。期間中に福生駅をはじめ市内の駅前にのぼり旗を設置し、市民に呼びかけていきます。

期間 11月1日㈯～14日㈮

問合せ 環境課環境係☎551・1718

多摩川講座「ネイチャーハイキング」

多摩川には川原特有の植物が生えています。今では少なくなってしまったカワラノギクを観察したり、近年増加している外来植物を調べます。

親子での参加も大歓迎です。

日時 11月1日㈯午前9時～午後2時

集合場所 川の志民館

コース 川の志民館→かに坂公園→カワラノギク群生地→平井川→草花公園（昼食）→八雲神社→二宮神社→中央体育館

持ち物 昼食、飲み物、筆記用具。川原を歩くので、動きやすい服装、靴で参加を。

対象 中学生以上

※ただし、親子で参加の場合は小学4年生以上

定員 先着20人

申込み 10月20日㈪から環境課環境係☎551・1718へ。

湧水を探しにハイキングに出かけませんか？「秋の湧水ハイキング」

ふっさ湧水探検隊では、あきる野の湧水を探しにハイキングに出かけます。

日時 11月7日㈮午前10時～午後3時まで

コース 中央体育館→広済寺→平井川→草花公園（昼食）→八雲神社→二宮神社→中央体育館

集合場所 中央体育館駐車場

持ち物 弁当・飲み物

対象 18歳以上

定員 先着20人

参加費 50円（団体保険加入代）

主催 ふっさ湧水探検隊

申込み 10月20日㈪から環境課環境係☎551・1718へ。

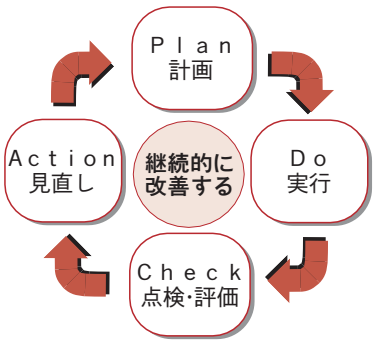
※「ふっさ湧水探検隊」は、福生の豊かな湧き水に関心を寄せる市民の集まりで、平成17年に結成されました。

11月から環境マネジメントシステムを導入

市では、学校を含むすべての施設の職員が、環境問題に率先して取り組むために、11月から「福生市環境マネジメントシステム」を導入します。

■環境マネジメントシステムって何？

環境マネジメントシステムとは、環境に関する計画や目標について、「計画（Ｐｌａｎ）」「実行（Ｄｏ）」「点検・評価（Ｃｈｅｃｋ）」「見直し（Ａｃｔｉｏｎ）」を行ない、システムを継続的に改善していくしくみのことを言います。企業で取り組まれているＩＳＯ14001も、環境マネジメントシステムのひとつです。



本市のシステムは、環境自治体をめざす全国65の自治体で構成する「環境自治体会議」の付属機関、ＮＰＯ「環境政策研究所」が開発した環境自治体スタンダード（通称ＬＡＳ－Ｅ）をベースにしたものです。

■ＬＡＳ－Ｅって何？

市役所は、一事業所としてエネルギーやごみの削減などに取り組むことも必要ですが、行政として、環境に配慮した行政運営や環境自治にも積極的に取り組んでいく必要があります。そのような『環境自治体』としてふさわしいかどうかの基準がＬＡＳ－Ｅです。

このシステムの最大の特徴は、目標の設定や監査に市民が参加して、市役所の取り組みが形式的なものとならないようチェックする点にあります。

■目標は？

福生市環境マネジメントシステムの目標には、大きく分けて2種類あります。

①ＬＡＳ－Ｅに決められている共通目標…行政として、また一事業所として、環境にやさしい取り組みを実施しているかどうか。

②市が独自で決定する目標…エネルギーやごみの削減量などを具体的な数値で示したもの。

※これらの目標は市民が参加して設定します。

■効果のチェックは誰がするの？

取り組みを始めて3か月以上経過したら、監査を実施します。この監査員には、市民や事業者が必ず参加しなければなりません。監査員が市役所の各部署に立ち入って取り組み状況を確認していきます。

■未来に豊かな地球環境を引き継ぐために

環境マネジメントシステムの導入は、市役所のためや監査に合格するために行なうのではありません。かけがえのない地球を守り、未来を担う子どもたちにより良い環境を引き継ぐために、現代を生きている私たちの責務として、市長を筆頭に全職員が一丸となって取り組んで行きます。

問合せ 環境課環境係☎551・1718